

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（下記URL）に掲載 http://www.jti.co.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人
同事務取扱場所

三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 郵便物送付先

〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-707-696
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

各種手続用紙のご請求

住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル(0120-86-4490)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

株主優待商品発送のご案内

株主の皆様へ、6月末にお届けいたしました株主優待商品（飲料製品詰め合せセット）につきまして、まだお手元に届かない株主様がおられましたら、お手数ですが、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

JT株主優待事務局
(商品発送代行：株式会社ジェイティクリエイティブサービス)
フリーダイヤル 0120-791-187
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

なお、株主優待につきましては、株主名簿に記載されておりますご住所宛にお届けいたしております。
引越し等により、ご住所に変更があった場合には、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行へ速やかにお届出をお願いいたします。
(住所変更のお手続きにつきましては、21ページをご参照ください。)

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
電話：03-3582-3111
<http://www.jti.co.jp/>



この業績報告書はエコマーク認定の再生紙(古紙100%)を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。



Welcome to the Delight World Vol.14



ひろえは街が好きになる運動 IN 青森ねぶた祭

業績報告書

CONTENTS

2007年3月期第1四半期決算のご報告

この人に煙草あり。／バッハ

特集

●医薬事業のご紹介

ひろえは街が好きになる運動

イベント情報

ニュース掲示板

JT商品のご案内

- ルーツ「カスタムブレンドマウンテンハイ70微糖」 好評発売中
- ミス・パーラー「りんごの天然水」 新発売
- 「お弁当大人気!」シリーズ「ミニ春巻」 好評発売中
- 「いまだとき和膳」シリーズ「れんこんはさみ揚げ」 好評発売中

株主様アンケート結果のご報告

株式の諸手続きについて





ご
あ
い
さ
つ

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

2006年5月、当社は今後3年間の中期経営計画である「JT2008」を発表いたしました。
「JT2008」の根幹は、これまでに確立した持続的成長のための基盤を
確実なものとして、発展させていくことにあります。
今回、株主の皆様にご報告する第1四半期決算は
「JT2008」における最初の経営成績報告となります。

第1四半期決算は7月から実施された、たばこ税の増税に伴う
駆け込み需要の影響を主因として、増収増益となりました。
今後は増税に伴う販売数量への影響を最小限とするべく様々な経営努力を行い、
引き続き、JTグループの企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、
より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年8月
代表取締役社長

木村 宏

2007年3月期 第1四半期決算の概要

2007年3月期第1四半期決算は表1をご覧ください
とおり、増収増益となりました。

売上高を事業別に見ると、国内たばこ事業は、
本年7月からのたばこ税増税に伴い、駆け込み
需要が発生したことにより、増収となりました。
海外たばこ事業は、グローバル・フラッグシ
ップ・ブランド（「キャメル」、「ウinston」、
「マイルドセブン」、「セーラム」、以下「GFB」）
販売数量の伸張により、増収となりました。医
薬事業は減収となりましたが、これは昨年度の
第1四半期にJTK-303（抗HIV薬）の導出に伴
う一時金を計上していたことによるものです。
食品事業は、飲料事業における自動販売機販路

の拡大及び「ルーツ」の順調な伸張、加工食品
事業における市販用冷凍食品を中心とした事業
量の拡大によって、増収となりました。この結
果、当第1四半期の税抜売上高は、前年同期比
517億円増収の5,445億円となりました。

営業利益に関しては、主に国内たばこ事業に
おいて、駆け込み需要が利益を押し上げたこと
により、前年同期比165億円増益の1,020億円と
なりました。

また、四半期純利益は固定資産売却益の増加
を主因として、特別損益が改善し、前年同期比
287億円増益の762億円となりました。

■表1 2007年3月期第1四半期決算

(単位：億円)

	2006年3月期第1四半期実績	2007年3月期第1四半期実績	増減
税込売上高	11,510	12,895	1,385
税抜売上高	4,927	5,445	517
EBITDA ^(注)	1,158	1,341	182
営業利益	855	1,020	165
経常利益	843	1,035	191
四半期純利益	475	762	287

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費

各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、本年7月からの増税に伴う定価改定を控え、当第1四半期に駆け込み需要が大きく発生しました。この結果、JT製品シェアは前四半期(1-3月期)に比べ、0.3ポイント上昇し、65.5%となりました。当第1四半期においては、中核ブランドの価値向上の一貫として、本年5月からマイルドセブン・ファミリー5銘柄のデザイン変更を行いました。ボックス製品とソフトパック製品のパッケージ・デザインを統一し、ブランド・イメージに一貫性を持たせるとともに、価格面でも統一を図り、マイルドセブン・ファミリーのシェア確

保を図っていきます。また、D-spec製品であり、かつ、メンソール製品、300円以上製品である、「セブンスター・レボ・ウルトラライト・メンソール・ボックス」を全国拡販しました。なお、当第1四半期における各伸張セグメント(1mg製品、メンソール製品、300円以上製品)のシェアの減少は、駆け込み需要の影響による一時的なものとして分析しており、伸張セグメントに引き続き、注力していきます。



セブンスター・レボ・ウルトラライト・メンソール・ボックス

●「マイルドセブン」ファミリーのボックス製品5銘柄を新デザインに刷新



マイルドセブン・エクストラライト・ボックス



マイルドセブン・エクストラライト・100'sボックス



マイルドセブン・スーパーライト・ボックス

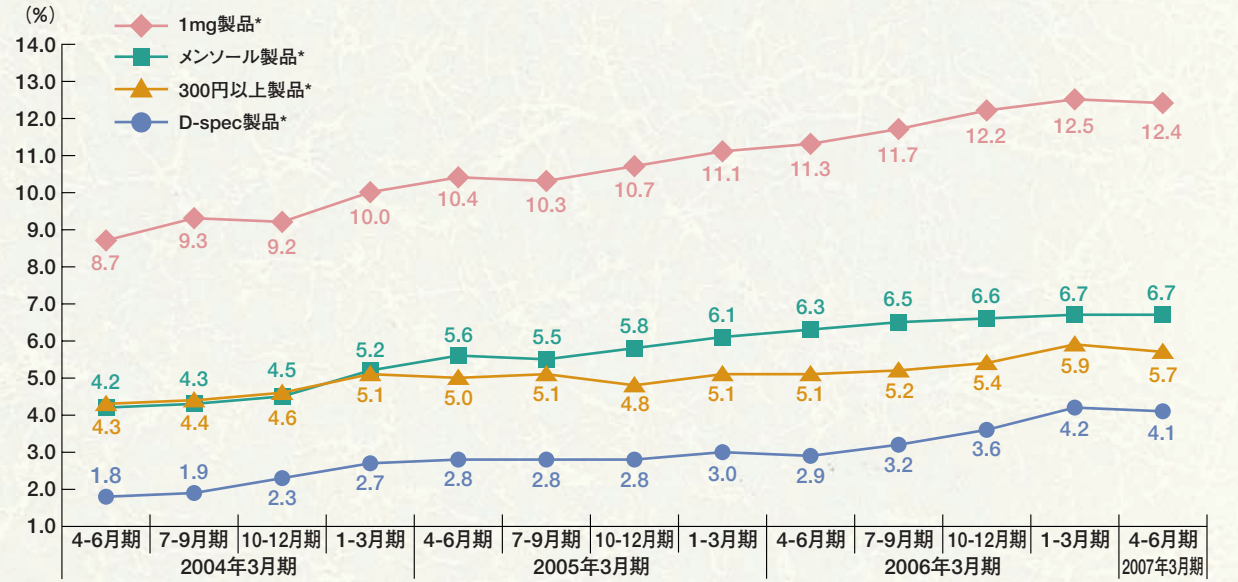


マイルドセブン・ライト・ボックス



マイルドセブン・ボックス

■図1 伸張セグメントシェア推移



*新ベース=JTオリジナルブランド+ JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

海外たばこ事業

海外たばこ事業の2006年1-3月期の販売数量は、イタリア、ロシア、ウクライナ、台湾、フィリピン等が成長を牽引し、6.4%の増加とな

りました。GFB販売数量は、「キャメル」がイタリア、フランスで、「ウィンストン」がスペイン、イラン、イタリア、ウクライナ、ロシアで、「マイルドセブン」が台湾、ロシアで伸張したこと等から7.0%増加しました。
※海外たばこ事業は2006年1-3月期を連結

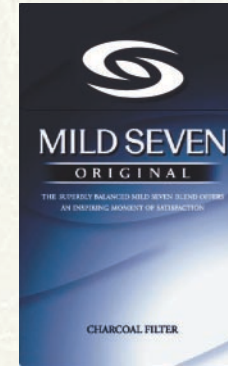
●グローバル・フラッグシップ・ブランド



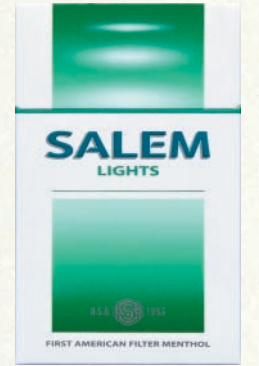
キャメル



ウィンストン



マイルドセブン



セラム

医薬事業

医薬事業については、高脂血症治療薬「JTT-130」を海外でステージアップさせるとともに、骨粗鬆症治療薬「JTT-305」を海外で、

高尿酸血症治療薬「JTT-552」を国内で、それぞれ臨床入りさせることができました。「JTT2008」で目標として掲げた、「開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実」という目標に対し、順調なスタートを切ることができました。

■ 医薬事業 臨床開発品目 (2006年7月31日現在)

開発名	開発段階	適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内:Phase1	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社と日本・韓国を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結(2004年10月)
JTT-130 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase2	高脂血症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内:Phase1	抗HIV	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンシズ社と日本を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結(2005年3月)
JTT-302 (経口)	海外:Phase1	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内:Phase1 海外:Phase1	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内:Phase1	2型糖尿病	インスリンシグナル伝達を真に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内:Phase1	高尿酸血症	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回(2006年4月28日)公表時からの変更点
 JTT-130 海外臨床試験 Phase1からPhase2へ移行
 JTT-305 海外臨床入り
 JTT-552 国内臨床入り

食品事業

食品事業については、飲料事業における自動販売機販路の拡大、および「ルーツ」の順調な伸張に加え、加工食品事業における市販用冷凍食品を中心とした事業量の拡大により、増収となりました。

また、収益面においても、事業量の拡大、および効率的な経費執行に伴う固定費の削減により、増益となりました。



ルーツ「アロマブラックボトル」



「お弁当大人気!」シリーズ 新鮮卵のふっくらオムレツ



「いまだき和膳」シリーズ 鶏つくねのきんぴら巻

2007年3月期の業績予想については、国内たばこ事業における7月の増税以降の販売動向を見極める必要があることから、現時点での修正は行っていません。7月以降の競争状況や総需

要の変化が、業績に与える影響を精査し、必要に応じて、適切な時期に予想の修正を行うこととしています。

■表2 2007年3月期業績予想 (2006年4月28日公表)

(単位:億円)

	2006年3月期実績	2007年3月期見込	増減
売上高	46,376	47,700	1,323
EBITDA ^(注)	4,333	4,090	△ 243
営業利益	3,069	2,700	△ 369
経常利益	2,978	2,670	△ 308
当期純利益	2,015	1,790	△ 225

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主な

ものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前年度末 (2006年3月31日現在)	当第1四半期末 (2006年6月30日現在)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,608,154	1,782,166	174,012
固定資産	1,429,180	1,407,987	△ 21,193
有形固定資産	596,544	593,632	△ 2,911
建物及び構築物	238,049	233,949	△ 4,100
機械装置及び運搬具	144,604	140,523	△ 4,080
土地	138,671	137,534	△ 1,137
その他	75,217	81,624	6,406
無形固定資産	579,519	566,277	△ 13,241
連結調整勘定	355,183	—	△ 355,183
のれん	—	353,531	353,531
商標権	190,587	180,953	△ 9,633
その他	33,748	31,791	△ 1,956
投資その他の資産	253,117	248,077	△ 5,039
繰延資産	44	36	△ 7
資産合計	3,037,378	3,190,190	152,811

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	前年度末 (2006年3月31日現在)	当第1四半期末 (2006年6月30日現在)	増減金額
負債の部			
流動負債	626,355	749,605	123,250
固定負債	590,950	564,519	△ 26,431
負債合計	1,217,305	1,314,124	96,819
少数株主持分			
少数株主持分	57,561	—	△ 57,561
資本の部			
資本金	100,000	—	△ 100,000
資本剰余金	736,400	—	△ 736,400
利益剰余金	972,511	—	△ 972,511
その他有価証券評価差額金	35,531	—	△ 35,531
為替換算調整勘定	△ 7,353	—	7,353
自己株式	△ 74,578	—	74,578
資本合計	1,762,511	—	△ 1,762,511
負債、少数株主持分及び資本合計	3,037,378	—	△ 3,037,378
純資産の部			
株主資本	—	1,793,139	1,793,139
評価・換算差額等	—	24,620	24,620
少数株主持分	—	58,305	58,305
純資産合計	—	1,876,065	1,876,065
負債及び純資産合計	—	3,190,190	3,190,190

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表等規則等の改正に伴い、従来「連結調整勘定」と表示していた勘定項目を「のれん」に変更しています。

商標権の主な内容は、RJRインターナショナル(現JTインターナショナル)取得時にあわせて取得したCAMEL、Winston、Salemといったグローバル・フラッグシップ・ブランドの商標権です。

主として、増税前の駆け込み需要による販売数量増に伴い、未払たばこ税が増加したためです。

本年5月より施行された新たな会計基準の適用により、貸借対照表の「資本の部」が廃止され、代わりに「純資産の部」が新設されました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	増減金額
売上高	1,151,053	1,289,585	138,532
売上原価	914,880	1,049,259	134,378
売上総利益	236,172	240,326	4,153
販売費及び一般管理費	150,632	138,255	△ 12,377
営業利益	85,540	102,071	16,530
営業外収益	2,787	5,243	2,455
営業外費用	3,981	3,814	△ 166
経常利益	84,346	103,500	19,153
特別利益	4,619	26,440	21,820
特別損失	9,077	3,592	△ 5,484
税金等調整前四半期純利益	79,888	126,347	46,458
法人税、住民税及び事業税	31,371	48,275	16,904
法人税等調整額	—	—	—
少数株主利益	992	1,823	831
四半期純利益	47,524	76,248	28,723

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

主に国内たばこ事業において、7月からの増税に伴う駆け込み需要が発生し、売上・利益をともに押し上げたことによるものです。

主に受取利息、為替差益が増加したことによるものです。

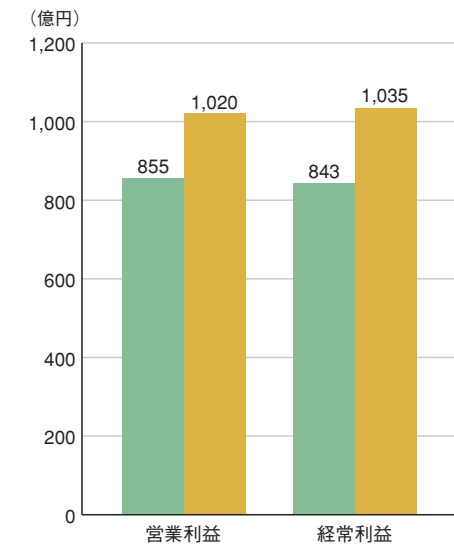
固定資産売却益の増加を主因として、特別損益が改善しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

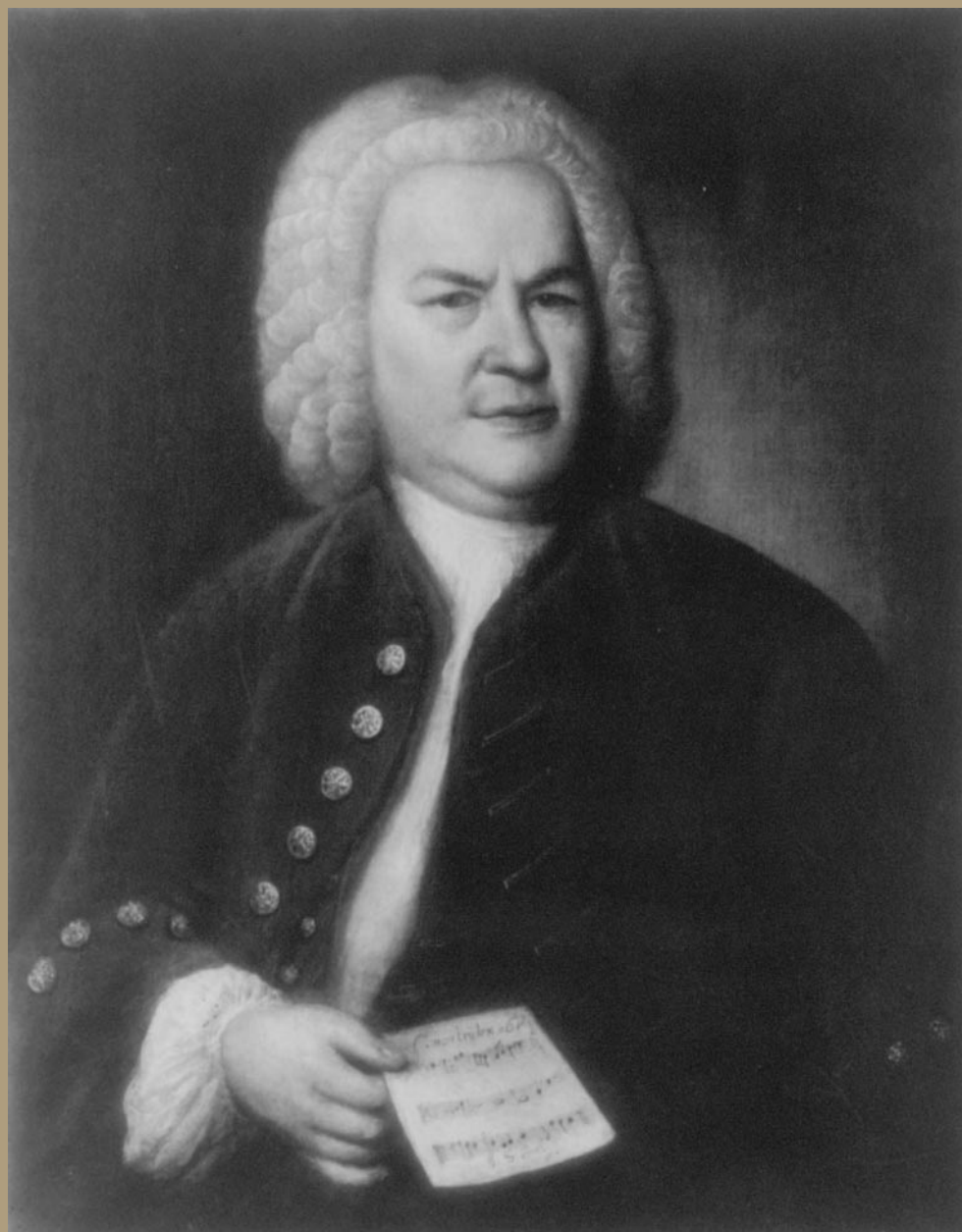
(単位:百万円)

科目	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,135	105,184	129,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,812	15,941	33,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,334	△ 10,550	3,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,538	△ 107	△ 2,645
現金及び現金同等物の増減額	△ 53,744	110,467	164,211
現金及び現金同等物の期首残高	829,087	920,141	91,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	775,343	1,030,609	255,266

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



■ 2005年度第1四半期 ■ 2006年度第1四半期



「信心深くなる、たばこ喫みの考え」—— パイプと神を愛した作曲家

西 洋音楽史上において近代音楽の創始者、バロック音楽の最後の巨匠として重要な位置に存在するバッハは、オペラ以外のあらゆる曲種を手がけた。その作風は、当時までに存在した音楽語法を集大成し、さらにそれを極限まで洗練進化させたものである。つまり、バロック時代以前のものとは古典派時代以降の音楽の2つのスタイルにまたがり、音楽史上の大きな分水嶺となっている。

彼はドイツを離れたことこそなかったが、大変に勤勉かつ勉強熱心で、幅広い音楽を吸収した。フランスの舞曲リズムとイタリア風の優美な旋律とドイツ

のこみいった対位法をもちいて、彼自身の個性に満ちあふれた音楽を創り上げた。

また、バッハの音楽のもっとも本質である教会音楽、特に宗教的声楽曲は彼の作品群の中でも非常に重要な位置を占める。その音楽的経歴の大部分を教会音楽家として送った彼の作品の中に「信心深くなる、たばこ喫みの考え」という歌曲がある。彼は、このような曲をつくるほどの愛煙家だった。この歌曲の内容は、「パイプたばこをとおして、私は自分の運命を考え、信心深い思いにふける」というもの。たばこと信心を関連付けるところに、バッハのきまじめ

さがよく表れている。

晩年になって、なぜそれほど高い音楽性を身に付けたのか、と問われたバッハは、「私は一生懸命勉強した。誰でも私が勉強したほど勉強すれば、私くらいになるだろう」と答えたという。たしかに、彼は、少年のころ、月明かりで楽譜を写したり、演奏会を聴くためなら片道60キロもある道のりをいとわなかった努力家だった。

こういう性格だからバッハは、パイプの意味を真剣に考え、また、その答えを歌曲として発表したのではないだろうか。

参考文献：「たばこの謎を解く」より

Johann Sebastian Bach
(1685年 — 1750年)

1706年 有名な「トッカータとフーガニ短調」を作曲
1721年 「アンナ・マグダレーナのためのクラヴィーア小曲集」を作曲
1723年 ライプツィヒの聖トーマス教会のカントル（音楽監督）（通称「トーマスカントル」）に就任
1727年 「マタイ受難曲」初演
1747年 「音楽の捧げ物」を大王（フリードリヒ2世）に捧げる

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

JTは、1987年より医薬事業に進出しています。
 国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築と
 オリジナル新薬の開発による存在感の確保に努め、
 当社事業の「次代の柱」とすべく、積極的に経営資源を投入しています。

医薬事業では、グループとしての相乗効果を最大限に発揮すべく、
 JTが研究開発機能を、鳥居薬品が製造・販売機能を担い、それぞれが得意分野に特化することで、
 グループとしての最適な事業運営体制の構築を図っています。
 世界中の患者様や医療関係の方々に「JTが創ったこの医薬品があってよかった」
 と思っただけのような、世界に通用する画期的な新薬の開発を目指しています。

中期経営計画「JT2008」医薬事業の方向性

医薬事業は、前中期経営計画「JT PLAN-V」の戦略を踏襲し、現状の臨床開発品の着実なステージアップを図りつつ、創薬研究の推進によるR&Dパイプラインの一層の充実に取り組んでいきます。
 重点研究領域に関しても、これまで同様、

主に「糖・脂質代謝」、「免疫・炎症」、「ウイルス」、「骨」の4領域に集中していきます。なお、自社における研究開発活動の充実・強化だけでなく、早期の事業価値増大の実現に向けた、戦略的な導出入機会の探索を図っていきます。



JT



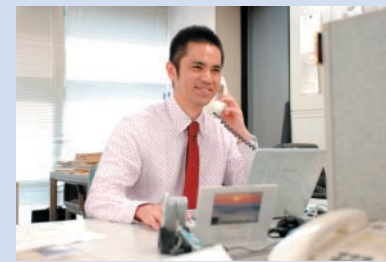
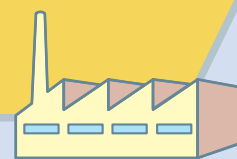
医薬総合研究所
 (研究開発)
 開発企画部/臨床開発部
 (臨床開発)
 薬事部
 (承認申請)



鳥居薬品 (JTグループ)



佐倉工場
 製造
 ●製剤
 ●包装
 ●検査

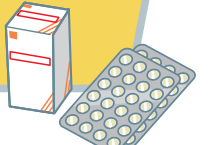


営業部門
 (本社、全国14支店)
 医薬品の適正な使用と
 普及のための情報提供

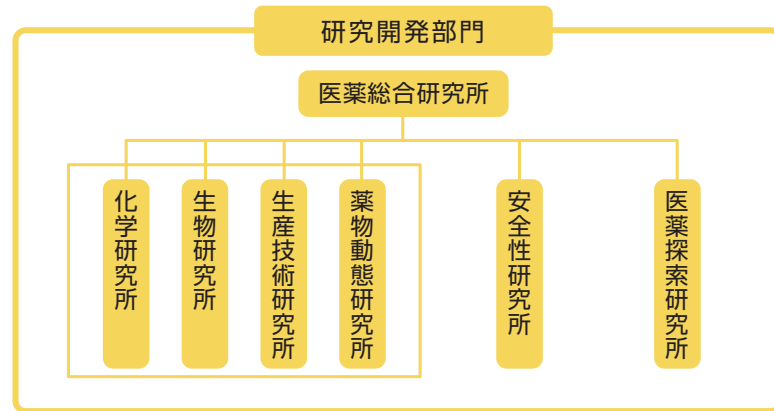


病院

患者様



研究開発



研究開発

医薬総合研究所（大阪府高槻市）では、1993年の開設以降、研究開発力の充実・強化に努めてまいりました。現在は、これまでの知見を活かし、主に「糖・脂質代謝、免疫・炎症、ウイルス、骨」の領域で積極的に研究開発に取り組んでいます。

医薬総合研究所は、医薬探索研究所（神奈川県横浜市）、化学研究所、生物研究所、生産技術研究所、薬物動態研究所（以上大阪府高槻市）、安全性研

究所（神奈川県秦野市）の6つの研究所から構成されています。



JT医薬総合研究所

臨床開発

臨床開発

臨床開発段階では、薬の候補品の有効性、安全性を確認するための臨床試験を行います。具体的には、まず健康な方を対象に安全性などを調べる試験を行い、次に同意を得た患者様に服用していただき、候補品の有効性と安全性を検証します。そして医療上の有効

性と安全性が確認された候補品についてデータを解析し、申請資料を作成して厚生労働省へ承認申請します。また、海外での臨床開発については、JT並びに子会社のアクロスファーマ社（米国）が協力して実施しています。



製造・販売

JTが新薬の開発を、鳥居薬品が製造、国内販売を担当

1998年に鳥居薬品はJTの株式取得により、JTグループの一員となりました。1999年10月には、JTグループとしての相乗効果を発揮するため、「JTグループとしての新薬研究はJTに集中し、JTが新たに開発した医薬品については原則として鳥居薬品が国内での販売を行う」という内容の業務提携を結びました。これにより、「研究開発はJT」「国内販売は鳥居薬品」という協業体制が確立し、今日に至っています。

また、JTグループの医薬品の製造については、従来からJT防府製薬工場と鳥居薬品佐倉工場を拠点としてきましたが、2006年4月に両工場を統合することとし、これに伴い、2006年3月をもってJT防府製薬工場を廃止しました。これは、2005年4月からの改正薬事法の完全施行を契機に、JTグループとしての製造機能の効率化を図ることを目的としたものです。現在、JTの医薬品の製造は基本的に鳥居薬品佐倉工場で行っています。



鳥居薬品佐倉工場

他社との提携による開発の加速

研究開発のスピードを向上し、有効で安全な新しい医薬品を少しでも早く患者様へお届けするために、自社における研究開発力の充実・強化を行うとともに他社との連携も進めています。

具体的には、自社開発の脂質代謝異常治療薬「JTT-705」をエフ・ホフマン・ラ・ロシュ社（スイス）へ、抗HIV薬「JTK-303」をギリ

アド・サイエンシズ社（米国）へ、前臨床段階の新規化合物についてグラクソ・スミスクライン社（英国）へ、それぞれ導出するライセンス契約を締結しました。

一方、ギリアド・サイエンシズ社と抗HIV薬3品の日本における独占的商業化権を取得するライセンス契約を締結し、既に鳥居薬品において3品の販売を行っています。



ひろえば街が
好きになる運動

たばこを吸う人も
吸わない人も
お互いに気持ちよく
すごせる街に



JT福岡支店のスタッフや自治体、NPO、関係団体が一丸となって盛り上げた結果、参加人数は6,000名を突破。それまでの過去最高記録となりました(福岡市「博多どんたく港まつり」/2005.5.3~4)

「ひろえば街が好きになる運動」

ゴミを「ひろろ」という体験を通じて、「すてない」気持ちを育てたいという願いから、2004年から市民参加による清掃活動を全国の皆さんと始め、2005年4月から『ひろえば街が好きになる運動』という名称で拡大展開しています。全国各地の自治体、学校、ボランティア団体、各催事の実行委員会や参加団体などと協力いただき、2006年6月末現在で延べ39都道府県、18万7千人以上の方々が参加する活動体となっています。



ひろえば街が好きになる運動

2005年度の
活動結果

参加者数：102,987人
実施回数：71回
実施都道府県数：38都道府県
参加団体：226団体
集めたごみの量：51.6 t ※1

※1…1回の「ひろえば街が好きになる運動」で集められたゴミ袋の中から無作為に抽出した平均値から算出

イベント情報

第27回
JT将棋日本シリーズ
こども大会/プロ公式戦

第27回 JT将棋日本シリーズ
こども大会/プロ公式戦 開催中!

将棋盤を挟んで真剣勝負を繰り広げる『JT将棋日本シリーズ』。今年も、約5カ月間をかけて北は北海道から南は熊本県まで、全国11会場で開催します。

27回目を迎える今年のイベントテーマは、『将棋で「ココロ」を育てたい』。開催地ごとに2日間にわたって開催する『JT将棋日本シリーズ』は三部構成からなるイベントです。

2006年度 開催日程と会場 終了した大会

大会名	1日目 こども大会<本戦>		2日目 第一部 こども大会<決勝ステージ> 第二部 プロ公式戦	
	開催日	会場 名称	開催日	会場 名称
信越・北陸大会	7/1 (土)	朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター2階 スノーホール	7/2 (日)	新潟テルサ
中国大会	7/8 (土)	協同組合 岡山県卸センターオレンジホール	7/9 (日)	岡山市民会館大ホール
北海道大会	7/22 (土)	北海道立総合体育センター「きたえーる」サブアリーナ	7/23 (日)	札幌市民会館大ホール
静岡大会	8/5 (土)	ツインメッセ静岡南館大展示場 A区画	8/6 (日)	静岡市民文化会館大ホール
熊本大会	8/26 (土)	熊本市流通情報会館展示場	8/27 (日)	熊本県立劇場コンサートホール
東北大会	9/2 (土)	アズテックミュージアム 仙台産業展示館	9/3 (日)	仙台国際センター2階 大ホール
東海大会	9/9 (土)	ポートメッセなごや 第2展示館	9/10 (日)	名古屋市民会館大ホール
福岡大会	9/16 (土)	福岡ファッションビル 8階 Aホール	9/17 (日)	福岡サンパレスホール
四国大会	9/30 (土)	マツノイパレス 4階 クリスタルホール	10/1 (日)	サンポートホール高松 3階 大ホール
大阪大会	10/14 (土)	大阪市中央体育館メインアリーナ	10/15 (日)	大阪府立青少年会館文化ホール
東京大会	11/25 (土)	東京体育館メインアリーナ	11/26 (日)	よみうりホール

※詳しくは <http://www.jti.co.jp/JTI/shogi/Welcome.html>



JTディライトフォーラム 開催中!

「ディライトフォーラム～価値観の数だけ、かけがえのない喜びがある。～」は良質な文化の芽を地域から育てていきたいという主催新聞社と地域文化に貢献したい、そして、かけがえのない喜びを提供したいというJTの考えが一つになって開催される文化イベントです。

開催日一覧(9月~10月)

開催日	開催地	会場	主催新聞社
9/4 (月)	高崎	ホテルメトロポリタン高崎	上毛新聞社
9/12 (火)	福井	福井ワシントンホテル	福井新聞社
9/20 (水)	福岡	福岡グランドホテル	岩手日報社
9/23 (土)	鳥取	ホテルニューオータニ鳥取	新日本海新聞社
9/29 (金)	宇都宮	宇都宮東武ホテルグランデ	下野新聞社
10/17 (火)	長崎	ホテルニュー長崎	長崎新聞社
10/23 (月)	京都	ホテルグランヴィア京都	京都新聞社
10/25 (水)	松山	松山全日空ホテル	愛媛新聞社
10/29 (日)	徳島	徳島プリンスホテル	徳島新聞社

※詳しくは <http://www.jti.co.jp/JTI/forum/Welcome.html>

■ JTIがセルビアSenta社の株式買収契約を締結

セルビアたばこ企業“AD.Duvanska Industrija Senta”（以下「Senta社」）の政府持分株式他の売却に関する入札が3月6日までに実施されました。本件については、セルビア政府が、3月10日、JTIが第一位入札者となったと発表しました。その後、セルビア政府との交渉を経て5月8日、JTIは株式買収契約を締結、ベオグラードでの調印式には小泉執行役員が出席しました。

今回の投資は、日本企業としては初めてのセルビアへの本格投資です。今後、JTIは設備投資を行う予定であり、来年にはセルビア国内市場向けにJTI製品の製造開始を計画しています。



調印式でディンキッチ・セルビア財務大臣と握手を交わす小泉執行役員

【Senta社 概要】

名称：AD.Duvanska Industrija Senta
 所在地：セルビア・モンテネグロのセンタ市
 売上高：約3.5百万ユーロ（2004年）
 設立：1956年
 従業員：約70人
 事業内容：葉たばこの加工処理

■ 2006年度JTアジア奨学生の第1回交流行事を実施

7月14日にJTアジア奨学生16名が参加し、本年度第1回目の交流行事を実施しました。

はじめに、JTが展開している食品事業の概要や、商品開発などの説明を受けた後、実際にセンター内で行われている加工食品や飲料の開発工程の説明を受けながら見学しました。次に、場所を草月会館に移し、「生け花」を実際に体験。まずは、先生から「生け花」についての説明があり、奨学生たちは悪戦苦闘しながらも、出来上がると、とても満足そうな表情で作品を眺めていました。

最後に、和やかな雰囲気の中行われた交流会では、奨学生OB・OGやJTの社員が多数集まり、親睦を深めました。途中、奨学生の皆さん

がそれぞれスピーチをし、研究内容や近況を報告。普段、研究で忙しい奨学生の皆さんにとって、とても有意義な時間となりました。



いつでもお好きなきに
 JTの飲料商品をお買い求めいただけます。
JTオンラインショップ
<http://www.shopjt.com/>

JT商品のご案内

北欧からやってきたピュアな天然水を、
 自信を持ってお届けします。
「アイスランド・スプリング」
<http://www.icelandspring.jp/>

ルーツ「カスタムブレンド マウンテンハイ70微糖」

185g缶/115円
 (希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- 味は、軽やかなコーヒー感が楽しめる中米高地産のコーヒー豆を70%と、しっかりとしたコーヒー感のあるコーヒー豆を30%、バランスよくブレンドすることで、微糖缶コーヒーに求められる「しっかりとしたコーヒー感がありながらすっきりとした味わい」を実現。
- デザインは、中米の豊かな山並みと澄みきった青空をグリーンとブルーで表現し、コーヒーの爽やかな飲み心地を感じるデザインに仕上げました。

👉 糖類70%カット*注の微糖缶コーヒー
 *注 コーヒー飲料等通常品に比べ。

「お弁当大人気！」シリーズ 「ミニ春巻」

6本入(150g)

好評発売中



- 1995年の発売以来、定番のロングセラー商品です。皮はパリッと、具材はとろ〜り、揚げたてのおいしさが味わえる本格春巻きです。
- 「お弁当大人気！」シリーズは、バラエティー豊かなラインアップで、個性化、多様化するお客様のニーズにお応えしていきたいと考えています。

👉 本格中華の味付けにこだわった一品

8月7日から新発売 ミス・パーラー「りんごの天然水」

500mlペットボトル/140円
 (希望小売価格 消費税別)

新発売



- 「天然水」シリーズは、初代の「桃の天然水」の発売から今年で10周年を迎えました。「りんごの天然水」は、1999年の発売当時、「透明なのにりんごのおいしさを楽しめる」というコンセプトで話題となった商品です。
- 味は、りんご果汁と天然水で仕上げ、みずみずしいおいしさを楽しめる甘さすっきりのアウオーターです。

👉 甘さすっきりのアウオーター

「いまどき和膳」シリーズ 「れんこんはさみ揚げ」

4個入(120g)

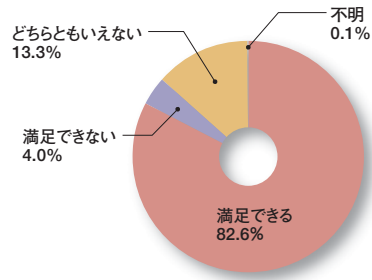
好評発売中



- えび丸ごと一尾と、いかのすり身をシャキシャキのれんこんではさんだ手作りの味わいです。
- 「いまどき和膳シリーズ」は、「馴染みのあるメニュー」「家庭で手作りしにくいメニュー」などをテーマにした、さまざまな食シーンで利用できるシリーズです。

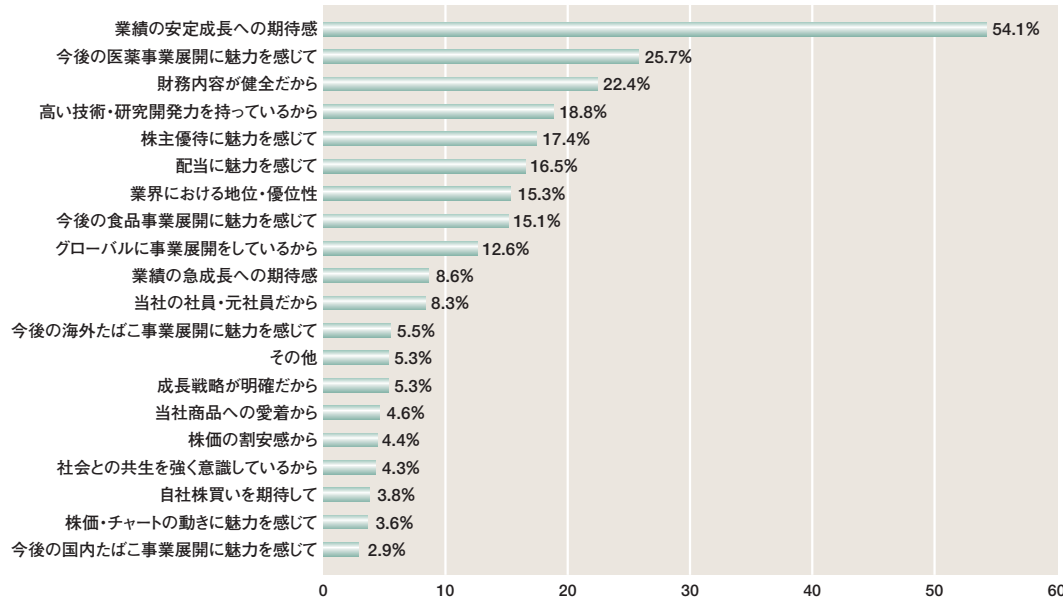
👉 こんぶだして自然のおいしさ

●株主優待品(当社飲料製品)の内容はいかがでしたか。



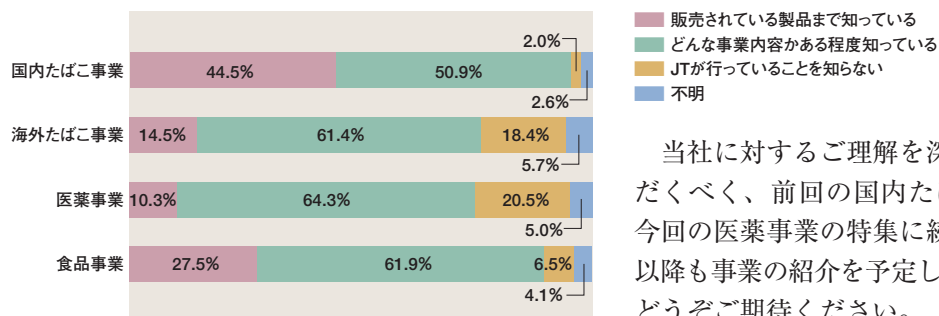
優待品の内容については8割を超える株主様より「満足できる」というご評価をいただきました。より多くの株主様にご満足いただけるよう今後とも魅力的な商品開発に努めてまいります。

●当社株式をどのような理由で保有されましたか。(複数回答可)



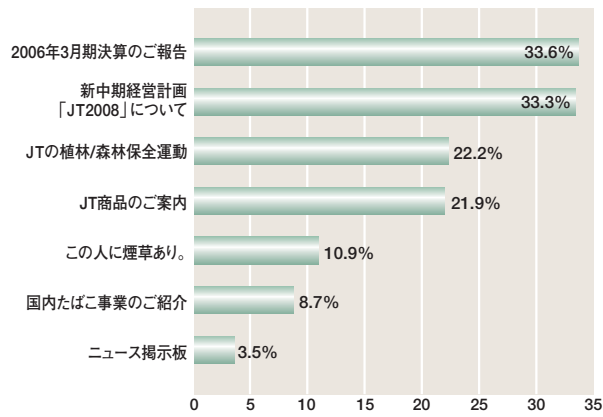
「業績の安定成長への期待」が約5割を超えた他、医薬事業や財務内容の健全性に高い注目をいただいています。今後も持続的な成長を目指し、一層の企業価値増大に努めてまいります。

●当社の各事業をどの程度ご存知ですか。



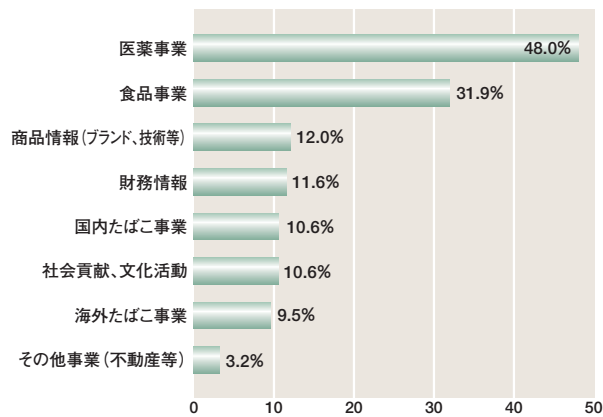
当社に対するご理解を深めていただくべく、前回の国内たばこ事業、今回の医薬事業の特集に続き、次回以降も事業の紹介を予定しています。どうぞご期待ください。

●業績報告書で関心を持たれた記事はどれでしたか。(複数回答可)



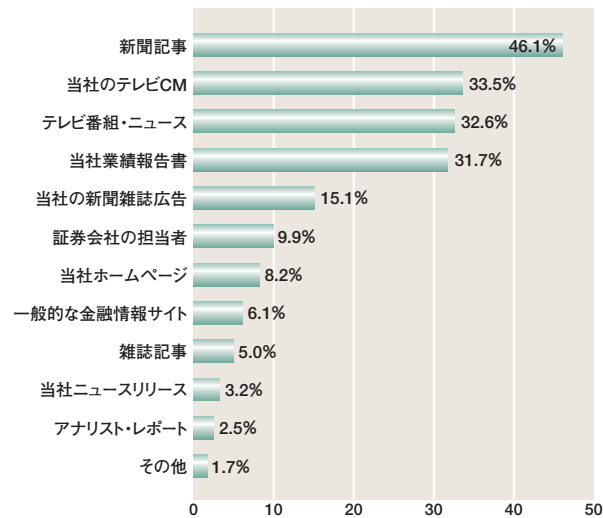
「2006年3月期決算のご報告」、「新中期経営計画『JT2008』」へのご関心がそれぞれ3割を超え、当社の業績に対するご期待の高さを改めて感じました。今後も全社一丸となって、目標達成に向け、邁進していきます。

●今後、充実が望ましい情報は何でしょうか。(複数回答可)



医薬事業や食品事業に関する情報の充実をご希望される株主様が多いという結果となりました。今回は医薬事業の特集を掲載しました。是非、ご覧ください。

●当社に関する情報をどのようにして得ることが多いですか。(複数回答可)



「新聞記事」、「テレビCM」、「テレビ番組・ニュース」に次いで「業績報告書」が株主様の重要な情報源となっているという結果になりました。これからも株主様からいただいた貴重なご意見をもとに業績報告書の一層の充実に努めてまいります。

株式の諸手続について

●名義書換をするには？

株式を購入されたり、保管振替制度のご利用を取り止められた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種発送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることとなります。

◎名義書換の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、株券と印鑑(お届出印となります)をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入していただき、一旦株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

②他の証券会社を通じて行う場合

上記以外では、証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは上記と同じですが、**書換手数料がかかります**、また場合によっては**手続きに時間がかかることもあります**ので、**手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

③郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。

●住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、郵便振替支払通知書(配当金計算書)、株主優待商品等をご登録の住所宛にお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)へ速やかにお届出をお願いいたします。

◎住所変更の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

②郵便をご利用の場合

三菱UFJ信託銀行(株)にお電話いただきますと、変更届をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

●配当金の受取方法は？

①配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受取いただけます。**

現金受取をご選択の株主様には、郵便局で受取ができる証書(郵便振替支払通知書)をお送りいたしますので、お近くの郵便局でお早めにお受取ください。

口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・郵便局等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

②現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

●配当金関係の書類が届かない場合、または郵便振替支払通知書を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受取いただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。また、同行本店及び全国各支店ならびに野村證券(株)全国本支店におきましても各種手続きのお取次ぎをいたしますのでご利用ください。なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求につきましては、フリーダイヤル(0120-86-4490)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

●お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-707-696
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
各種手続用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-86-4490
(三菱UFJ信託銀行(株)24時間テレホン自動音声応答サービス)

■役員(2006年6月23日現在)

取締役

取締役会長 涌井 洋治
代表取締役社長 木村 宏
代表取締役副社長 堀田 隆夫
代表取締役副社長 小幡 一衛
代表取締役副社長 熊倉 一郎
代表取締役副社長 山田 良一
取締役相談役 本田 勝彦
取締役 大久保憲朗
取締役 岩井 陸雄
取締役 新貝 康司

監査役

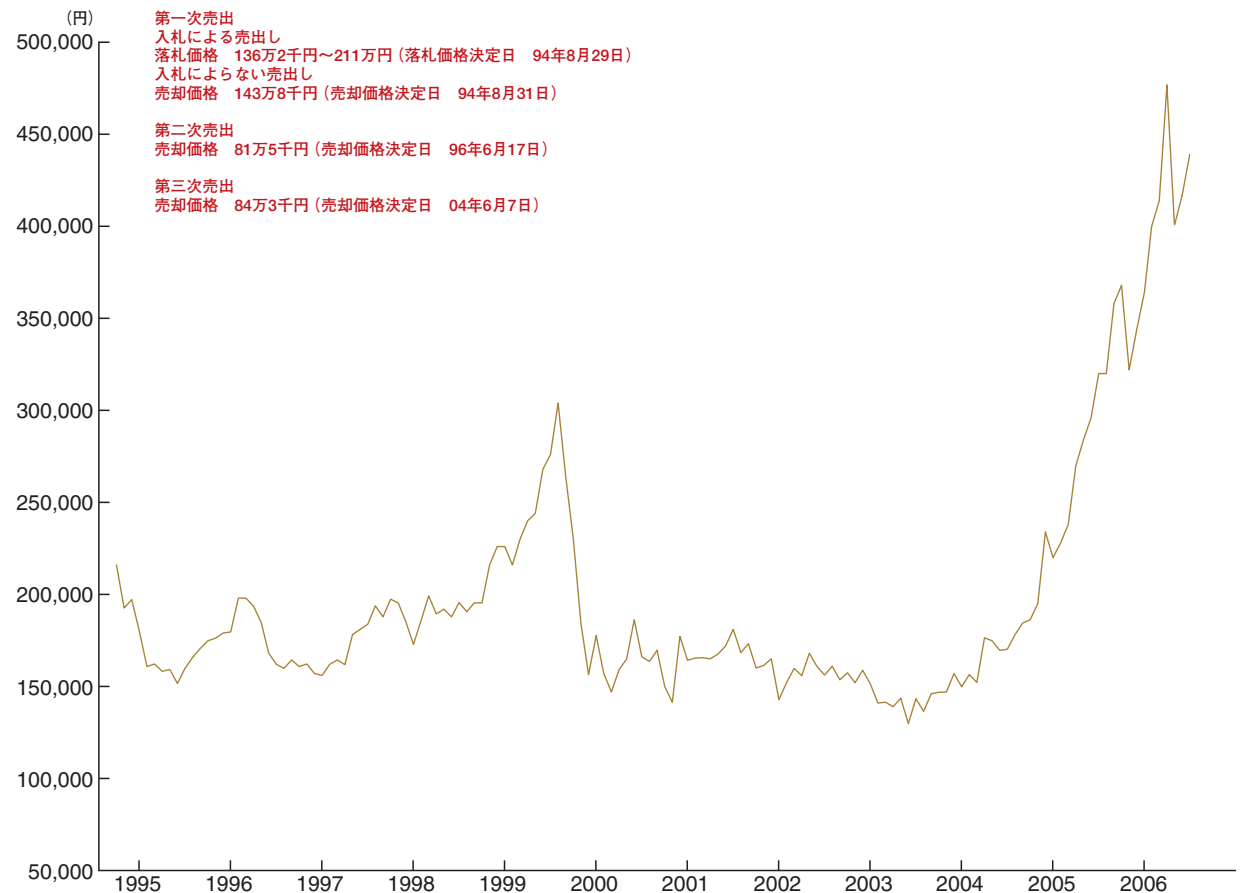
常勤監査役 田中 寿
常勤監査役 住川 雅明
監査役 村山 弘義
監査役 藤田 太寅

執行役員

社長 (財務責任者 兼 コンプライアンス・食品事業担当)
副社長 (企画・CSR・人事・監査担当)
副社長 (たばこ事業本部長 兼 特機事業担当)
副社長 (コミュニケーション・総務・法務担当)
常務執行役員 (たばこ事業本部 営業統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画部長)
常務執行役員 (医薬事業部長)
常務執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員 (食品事業本部長)
常務執行役員 (法務責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 研究開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 商品グループリーダー)
執行役員 (たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長)
執行役員 (食品事業本部 飲料事業部長)
執行役員 (食品事業本部 食品事業部長)
執行役員 (企画責任者)
執行役員 (人事責任者)
執行役員 (コミュニケーション責任者)
執行役員 (総務責任者)

木村 宏
堀田 隆夫
小幡 一衛
熊倉 一郎
山田 良一
渡邊善治郎
飯島 謙二
小泉 光臣
佐藤 誠記
大久保憲朗
石黒 繁夫
岩井 陸雄
下村 隆一
前島 宏敏
藤崎 義久
岩波 正
久野 辰也
塩澤 義介
日野三代春
古谷 貞雄
村井 良行
志水 雅一
西野 和博

■株価の推移 1994年10月27日上場~2006年7月 当社株価(東証終値,月間)



※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の株価は遡及して修正。